

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) ナガオ株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒700-0831 岡山県岡山市北区京橋町10番17号
----	------------------------	----	---

本票作成 部署名：ナガオ株式会社 宮浦工場 製造部

主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業
-------	-------	----	----------

事業の概要	事業内容：水酸化ソーダ、硫化ソーダ製造販売 事業活動の規模：生産量12000t、従業員数67名
-------	--

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	宮浦工場	岡山県岡山市南区宮浦221
	②	本社	岡山県岡山市北区京橋町10番17号

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	5,099 t CO ₂	5,642 t CO ₂	4,946 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25)年度排出量
	①	宮浦工場	5,601 t CO ₂
	②	本社	41 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(25) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	2.5 %	3.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 ・算定に用いた指標：宮浦工場の生産数量(t)〔原液濃度換算実施〕 ・用いた理由：宮浦工場の温室効果ガス排出量が、全体の大部分を占める為	原単位当たり排出量		
		基準年度	(25) 年度	目標年度
		0.408 t CO ₂ /(t)	0.398 t CO ₂ /(t)	0.396 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

平成25年度は、昨年度より熱、電気共に良好な結果だった。運転停止時の蒸気使用量を抑えることができたため、原単位削減に繋がったものと思われる。また、冷凍機の更新により大きな削減効果を得ることができた。

【推進体制】

省エネ推進委員会を3ヶ月に1回の頻度で開催し、年間活動計画を基に、エネルギー使用状況の把握、省エネ、節電等を推進した。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(25年度実施分) 本社、宮浦工場	(25年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> ・照明、PC等の電源のON、OFFの徹底 ・省エネエアコンの導入 ・低燃費車導入 ・フレーカー用冷凍機更新
宮浦工場	<ul style="list-style-type: none"> ・照明設備の省エネタイプへの更新 ・省エネエアコンの導入 ・断熱材の再点検と補修
(今後実施予定分) 本社、宮浦工場	(今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> ・車両更新の際に低燃費車の導入 ・省エネエアコンの導入
宮浦工場	<ul style="list-style-type: none"> ・断熱材の再点検と補修 ・水銀灯の省エネタイプへの変更 ・照明の自動点滅の更新 ・受電設備の効率化 ・スチームトラップの仕様変更 ・モーターのインバータ制御

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

・冷暖房設備の電気使用量削減の為に、クールビズ等を実施した。